



発行人
静岡県立静岡商業高等学校
同窓会 関東支部
(静岡同窓会関東支部)
〒104 東京都中央区佃1-9-11
TEL 03-(3531)-6878
FAX 03-(3531)-5771

編集
関東支部 広報部会
平成8年5月28日発行
(毎年1回・5月発行)

題字 湯本克巳氏
第五号

二十一世紀へ躍進 静岡

ホップ・ステップ・ジャンプ

平成八年

平成九年

平成十年

成功させよう 百周年

上段は30年以前・下段は31年以降の卒業生のみなさん



大会スローガン

テケテン・ドンドドン。東京は、下町風情の家並みと、モダンな高層住宅が同居している佃島にあるのが関東支部の事務局です。

営団地下鉄有楽町線・月島駅下車、出口六番から地上に出ると月島機械のビルが目に入ります。

佃大橋を左に見ながら徒歩二分、小さな公園の前にあるマルミ屋饅頭のビルが、私達の活動の拠点です。

関東大震災と、戦災をくぐり抜けた古い家々と、リバーシティ21などの近代的な高層ビルが同居する東京の、今と昔の両方の顔を持ち近所には歴史を感じさせる佃煮の老舗「天安」。

西仲通り商店街には若者に人気の「モンジャ焼き」の店が三十数軒。江戸から平成までの時代の流れを感じさせるエリアです。

この事務局で、年に数回の常任幹事会が開かれます。さて、平成七年度総会には新卒会員を含め、一二〇名の参加者があり、開会宣言・校歌斉唱にはじまり、湯本支部長の挨拶、本部からの来賓足野会計の祝辞と続き、物故者にたいする黙祷の後、会務報告・専門部会報告がなされ、議事では会計報告・会計監査報告、七年度予算、役員改選などの審議が行われ、各々が議案通り承認されました。

総会についての概況をお知らせしますと、会費納入者が約二七％で、総会出席者数共々平行線をたどっておりますが、新たな会員の参加もあり、僅か乍らも輪は拡がりつつあると言えるでしょう。

総会開催の案内通知に約六〇〇名の方々の反応がなかった事は、これからの課題として真剣に取り組むべき事と受け止めています。常任幹事・年度幹事・専門部会、総会の運営役員などが一丸となつての継続努力が、如何に大切かと痛感されます。

盛り上がった懇親会

松田 弘 (37年卒)

出席者の多くは、定例の支部総会も大事であることは当然知りながら、そのあとの懇親会を楽しみに来ている、というのが率直な気持ちのようである。

五回目を迎えての、参加者の中には新しい顔ぶれも見え、会場では肩を抱き合う光景が随所で見られた。

懇親会は、今年度運営役員の関根進一郎氏(27年卒)の司会により幕が落とされ、まずは全員による校歌斉唱のあと、湯本支部長の挨拶、本部百周年催事委員長の下村勝彦氏(36年卒)から、

百周年事業の計画と進捗状況についての報告や、原川校長の挨拶などがあり、続いての甲田安太郎氏(13年卒)の乾杯の音頭によりスタート。和やかなムードに包まれはじめた。

今回は、会場の立食テーブルに卒業年次を表示し、気ラクに昔話がでけるような試みがなされ、年次が近い者同志のため話題が共通し、つい先ほどまで互に名前を知らなかった卒業生が、恩師のこと、クラブ活動のこと、校舎のことなど想い出話に花を咲かせていた。

会のなかば、比較的出席者の多かった硬式野球・音楽・珠算・新聞・バレーボール・陸上競技の各クラブ卒業生が壇上にて当時の想い出話など語り、司会の関根氏が「心知った友達は兄弟よりも懐かしい」との詞の「古い顔」という歌を朗々と独唱され、会場はいやがうえにも盛り上がった。

また今回は望月健三郎・藤浪稔央両氏(27年卒)の力作である《静岡風》の色紙プレゼントもあり、成川貞夫氏はじめ、運営役員各位のアイデア、一致団結と連携プレイに頭の下がる思いであった。

(七年度総会運営役員)

母校創立100周年

記念事業計画が決定されました!!

静 商 同 窓 会 会 長 片 山 敏 朗
創立百周年記念事業実行委員会

母校静商は、平成十一年四月に、創立百周年という、記念すべき日を迎えます。本部で、記念事業の策定が進められ、平成十年十月十日（トリプルテン）に、記念式典・祝賀パーティーを開催することなど、計画大綱がほぼ決定されたことにより、本部・片山会長より関東支部会員にたいして協力要請のコメントが寄せられました。



関東支部の皆さんには、常日頃静商同窓会の運営とともに、創立百周年記念事業につきまして、格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

とくに、ご熱心な運営によって、着々と会員参加者が増えていることをお聞きして、大変うれしく思っております。また、アンケート調査には、関東支部から多くの方に参加していただき、率直で有益なご意見が拝聴できました。これらは、基本的な事業計画を定める中で、大いに参考にさせていただきます。

さて、本年三月中旬を目途に、各委員会では、基本となる事業計画作りをすすめて参りました。が、さる四月十日には多数の同窓生の参加のもとで、「創立百周年記念事業計画書(案)」の検討会が開かれ、活発な意見の交換の中で皆さんのご賛同を得ました。今回の百周年記念事業の基本方針として、私は、一つは静商

記念事業の基本理念は、教育の発展に寄与するもの、また、地域社会に貢献できるもの、との願いがこめられています。事業を円滑に推進するため「一億円募金」の呼びかけもあり、積極的な協力が望まれています。関東支部としても、是非この記念事業を盛り立て、諸兄弟共々大いなる喜びを分かち合いたいものです。

教育のさらなる発展に寄与すること、もう一つは、地域社会のためにも貢献できることを二本の柱として、すすめるよう提案して参りました。そして今大会のスローガンを、二十一世紀を直前にして開催する記念事業であることと、アンケートで最も多いご意見を生かして、「二十一世紀へ躍進静商」とさせていただきます。本部発行の会報とも一部重複いたしますが、この機会に私から、六つの主要項目に従って、計画の概要を関東支部の皆さんに、あらためてお知らせしたいと思います。

その第一は、「記念式典と祝賀パーティー」です。平成十年十月九日が、学校主催の式典、つづいて十月十日には同窓会主催の祝賀パーティーが開催されます。このパーティーは、二千人を上回る規模を想定して、楽しい集いとなるよう計画しておりますので、是非、多くの皆さんのご参加をお



活発な検討会風景 壇上は比奈地実行委員長

皆様の絶大なご理解がどうしても必要です。卒業期別にも、またそれぞれの地区会別にも、積極的なご理解をお願い申し上げます。第四は、「学校施設整備」への協力です。これは百周年を機に、学校からの希望もよく聞いて、教育にも関連する施設・設備等への支援を行うとともに、記念碑や記念植樹等々が内容となっています。なお、宿泊機能をもつ、県事業である「セミナーハウス」につきましては、早期の着工を同窓会としても働きかけて参りたいと思っております。第五は、「記念催事」の開催です。今後も検討を継続し、固めていく催事もありますが、記念講演会や文化的行事としての音楽会、美術展、また展示会や女性総合委員会のチャリティーバザー等々が、在校生徒や地域産業、さらに市民の皆さんにも呼びかけて、順次具

第三は、「一億円募金」の実施です。諸般の事情から同窓会館の建設が、当面見送られましたので、募金規模は当初より縮小させましたが、事業を円滑に実施するためには、第六は、「(仮称)静商教育振興基金」の設立です。今回のアンケート調査の中で、最も多くの意見と関心が示されたのは、基金づくりについてでありました。いろいろのご意見をいただきましたが、今回の計画では平成八年〜十年の三ヶ年の記念事業期間に、まず五千万円をもって、標記の基金をスタートさせ、学校教育の振興、人材の養成のために活用していただくことを考えました。しかしこれだけでは、決して十分ではありません。そのため引き続き、平成十一年から、二十一世紀初頭の十三年までの間を、オープンな寄付受け入れ期間とし、この基金をできれば二億円程度にするよう、充実強化して参りたいと提案させていただきます。以上の事業をすすめるための概算予算額は、およそ一億七千万円程度になるものと思われま

今後検討事業が確定されたり、実施に移される場合に、一部に変更や増減があると思いますが、同窓会報などを通じて、皆さんへのお願いや、より詳細な経過報告などのお知らせを行うよう、留意して参りたいと思っております。今回の事業計画の決定を機会に、関東支部の皆さんの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。遠隔の地ではありませんが、是非ともいろいろの機会に、ご参加をいただければ幸いです。心からお待ち申し上げます。

21世紀へ 躍進静商

—大会スローガン—

「母校創立百周年」

記念行事について

皆さんのご意見を お聞かせください!!

百年部会 入野克彦 (33年卒)

本部に於ける、百周年記念の事業計画が策定され、基本構想が発表されましたが、百年部会発足以来、関東支部としても独自に記念事業を行うべきか、その施策はどのようにすべきか、検討してまいりました。

平成三年七月六日、関東支部設立総会が開催され、専門部会が組織化されました。以来、百年部会の活動状況および、幹事会などにおける基本討議などについては、総会の席上及び会報などを通じ、皆様に報告してまいりました。

ども掲載いたしました。経時的には賛否両論があつてしかるべきですし、これらの議論を通じ、百年祭への関心を高めて頂ければとの立場でありました。

また、幹事会・常任幹事会においては、関東支部としても本部の行事に出来る限りの協力をします。との方針は確認しておりますが、加えて、支部独自の記念行事を行うべきか、否か？について、常に意見交換を試みてまいりました。

開催については、今後開催については、今後も検討を加える。③ 予算については、次ぎの事項を執行する直近時点の積立金をベースとして (イ)本部へ協力する主旨からその三〇%程度を

② 記念会報を発行する。 ☆ 特別号としての発行か ☆ 通常の内容に記念特集を加えたものか ☆ 学術論文なども載せたらどうか

までもお寄せくださるよう、格段のご協力をお願い致します。また、静岡本部片山会長からのご説明にもありまして、記念事業推進のため「一億円募金達成」は不可欠な課題です。今後、皆さんに個別の募金要請があると思いますが、母校のため、できるだけ多くの方々の、できる限りのご支援、ご協力を頂きたいと存じます。

つまり、会報第二号紙上にて、投稿による本部への提案として「ドデカイ夢・静岡に同窓会館の建設を！」部会部長の「お知恵拝借」。第三号の部会通信では「ふたつの永久」。

現時点で決まっていることは、昨年五月十三日に開催の第10回幹事会で承認され、七月八日の定例総会の席上において報告致しました「百周年記念行事についての基本的な考え方」であります。

その内容は ① 本部主催の行事へは積極的に参加・協力する。 ② 支部独自の記念行事の

① 定例総会の時に記念式典を併催する。 ※記念講演会も良い ☆ どの分野がよいか ☆ 会員に講師適任者はいるか ☆ 会員外の講師を呼ぶか ☆ 謝礼ほどの程度か ☆ 一般人も聴講者として呼ぶのか

つきましては、今年度の「定例総会出席のハガキ」をご利用頂くか、あるいは、適当な用紙にて ① ご提案の内容 ② その具体的な実施方法 ③ 予算規模(財源措置など)をご記入いただき、事務局

☆ 事務局のご案内 関東支部の事務局は下記の通りです。 静商同窓会 関東支部 事務局 104 東京都中央区佃 1-9-11 マルミ屋株式会社内 TEL 03-(3531)-6878 FAX 03-(3531)-5771



の投稿、稿の他、二、三の方々の、ご意見な

第四号では、特集を組みました。その中では、「自らの足元を固める時である」との投

「どこで」「何を」「どのように」 「財源をどのよう調達するか」

① 定例総会の時に記念式典を併催する。 ※記念講演会も良い ☆ どの分野がよいか ☆ 会員に講師適任者はいるか ☆ 会員外の講師を呼ぶか ☆ 謝礼ほどの程度か ☆ 一般人も聴講者として呼ぶのか

つきましては、今年度の「定例総会出席のハガキ」をご利用頂くか、あるいは、適当な用紙にて ① ご提案の内容 ② その具体的な実施方法 ③ 予算規模(財源措置など)をご記入いただき、事務局

☆ 事務局のご案内 関東支部の事務局は下記の通りです。 静商同窓会 関東支部 事務局 104 東京都中央区佃 1-9-11 マルミ屋株式会社内 TEL 03-(3531)-6878 FAX 03-(3531)-5771

世代を越えた集いを



副支部長 中村達郎 (32年卒)

昨年通り東京を中心とする首都圏で、力一杯がんばっていた同窓生の姿に接し、自分も「がんばらねば」という励みの場となっております。母校の創立百周年記念日も切迫している折柄、湯本支部長が病に倒れ大変心配いたしました。幸い回復に向かわれており、安堵している状態です。

選任されました。自分自身としては、大変重い役割を仰せつかり、果たして関東支部の付託に恥え得るか不安な面が多々あります。

現在の関東支部は、湯本支部長、海野幹事長をはじめ、役員各位の並々ならぬ情熱によって支えられております。

どちらかといえば、静岡人は温

暖な土地柄の印象から、保守的だというのが世間の評価です。しかし、殊に関東支部に、限って言えば「剛健」の言葉の進取

ダイナミックな支部の発展をめざして

新役員のごあいさつ PART I

の言葉



支部長 曾我 和善 (33年卒)

図らずも、前企画部長の成川さんの後任として常任幹事企画部長を拝命した。浅学非才の小生には荷が重いが、関東支部発展のために、少しでもお役に立てばとの思いでお引き受けすることとした。

平成八年度の定例総会の開催日

この現状をどう認識し、どう打開するか、会報四号に「自らの足元を固める時」

望月秀雄氏(30年卒)に会長職を依頼し、年二〜三回気軽に名所、旧跡、野山を

親睦組織の強化と拡大を

企画部長 曾我 和善 (33年卒)

同窓会に対する思い入れは、母校に対する思い入れ

は七月十三日(土曜日)。既に、総会運営役員として28年・38年・48年度卒の年次役員に委嘱し、ご尽力をお願いする段取りになっている。

同好会については、平成四年十月に発足したゴルフ会が小西文男会長(34年卒)知光名誉会長(28年卒)の名コンビの運営により、昨年十月には第八回を数えた。

「波メロデー」の感動を共に!

の通り気軽に散歩する会として構成されている。



常任幹事 瀧浪利信 (43年卒)

しております。

当時、同期の富田正巳君が常任幹事を務めていました。大阪へ転勤となり、引き継いだ鈴木幸夫君も静岡への単身赴任、(これも転勤族の宿命か...)そんな事情で、今回常任幹事という大役を仰せつかってしまいました。

常任幹事会では、支部の運営、同窓会発展のための施策打ち合わせに、年に数回集まり討議を重ねています。諸先輩の熱心な参加意欲と、真摯な討論、言動に大いに刺激を受けました。

静岡を離れて二十八年、東京・大阪・東京・大宮と

会費納入について

ご理解と協力を

会計 鈴木啓嗣 (34年卒)



担当を仰せつかりました。

関東支部が、拡大の方向で基盤が確立され、健全に運営される為に会計の立場でその任に努めて参りたいと思っております。

母校の、創立百周年記念事業を目前に控え、当支部としてどのような協力が出るのか、英知を計らねばならない時期をむかえていきます。

昨年がお住まいですが、年会費を納入頂いている方は毎年三〇〇名程度に止まっています。七月の定例総会に於いて、

より多くの方に、一層のご理解とご協力を頂けますようお願いします。

ここで話しは全く変わりますが、先日妻と帰省したおりに、東名から見た富士山はいつも通り力強く、この雄大さを目の前に、毎日を暮らしている地元の人達を羨ましく思いました。

私の父は四年前、左半身が不自由になり、それ以来テレビは大切な友の一つとなり、その父がある連続ドラマを見ていた時の言葉は「俺これ、きんらい。」

何と言ったの？という顔で私を見る東京育ちの妻。その言葉の意味を強調する時、間に「ん」をつけるんだよと妻に解説しながら、忘れかけていた故郷の言葉につけた自分の注釈に、自らが頷くような気分になりました。

「まんざい」「おんぞい」「ひんざらしい」そして、

卒業生の方々の

「きんらい」など「ん」を挟む言い方は、静岡弁といふよりも島田弁と言ふべきかも知れませんが……

同僚に誘われて飲み屋に入った時のこと、向うの席で、その仲間と話している男の言葉遣いは、乱暴ではあるが何か懐かしさと暖かさを感じ、あるいは、と話しかけてみたら焼津出身だと言う。同僚達には、何故分かるんだと大層驚かれたこともありました。

昭和38年、転勤で東京に出て来た時のこと、何げなく言った一言が、方言だと知って軽いショックを受けた事があります。

また、自分では意識して

会員の増加を目指して

組織部長 宗野治義 (32年卒)

昨年七月の、同窓会関東支部定例総会において「組織部長」を担当させていただきましたことになりました昭和32年卒業の、宗野治義と申します。

目下会員の増加を目指して努力しておりますので、よろしくご支援下さいますようお願い申し上げます。

本年三月に静岡の本部が



サポーターとして、立派な同窓会名簿が作成された

いなかた静岡訛りを指摘された事もありました。

そして、知らぬ間にいわゆる標準語になっていたのです。しかし、島田弁を聞いて安堵してみたり、何年経っても、お故郷訛りで話す人に出会った時は、懐かしさを覚える一方で、それを忘れてしまいたいような感じがしてしまいます。

何はともあれ、同窓会は地元同士、思い切って懐かしいふるさとの方言で喋り合い、眠りかけている故郷の、また青春時代の、熱き情熱を呼び戻そうではありませんか。

この名簿により、関東地区に在住の、先輩や後輩の皆さんのお名前が、更に明確になりましたので、関東支部の名簿の追加修正を行います、いままで以上にコミュニケーションの取れた同窓会支部にしていきたいと存じます。

関東支部の定例総会は、毎年七月の第二土曜日開催されておりますので、今回のご案内には関東支部の名簿に追加された、皆様方全員にご案内をさせていただきます、総会出席者の増大

を図りたいと存じます。年度幹事の皆様方には、ご自分の年度の同期生の方々の消息を把握して頂き、追加変更がある場合は組織部宛にご一報頂きたいと存じます。

また、年次毎の同期会の開催は、積極的に取り組んでいきます。

今後一年間、皆様方のご協力により職務を遂行していく所存ですのでよろしくご指導をお願い致します。

会計及び会計監査より左記の通り平成八年度関東支部の会計報告がありましたので掲載いたします。

(平成七年四月一日より平成八年三月三十一日まで)

項	目	金額
収入	前期繰越金	956,735
	本年度総会会費	920,000
	年会費	538,000
	寄付金	885,000
	報告広告収入等	230,000
部の小計		2,600,713
	合計	3,557,448
支出	本年度総会費用	926,777
	会報発行費	489,286
	専門部会活動費	83,330
	会議費	399,269
	運営諸経費	96,588
部の小計		2,081,271
	合計	3,557,448
100年事業等積立金		1,000,000
	次期繰越金	476,177
合計		3,557,448

項	目	金額
前年度末積立金		3,000,000
本年度積立金		1,000,000
本年度末積立金		4,000,000

項	目	金額
銀行預金		457,600
M M F		2,009,881
中期国際ファンド		2,008,696
合計		4,476,177

上記の通り会計報告申し上げます。

平成8年4月18日

会計 鈴木啓嗣 ㊞

会計監査報告

監査の結果上記報告の通り相違なく適正であることを認めます。

平成8年4月19日

会計監査 成川貞夫 ㊞ 富田修一 ㊞

また、集まった そして、 また集まろう！

二十三年卒(四八回)
二十四年卒(全一回)

関東支部会報第三号(平成六年五月発行)で、昭和23年卒・24年卒の関東地区同期会が、平成五年十月十六日に江東区東陽町の東京サニーサイドホテルへ、九名が参集して開かれた事をお知らせしました。

インフォメーション 同期会からのたより

それから二年毎の開催年を迎えて昨年10月21日(土)所も同じ、東京サニーサイドホテルへ、同期十二名が集まって、午後三時から懇親会を始め、時間のたつのも忘れ「アルコールが入ったので」PM

六時閉会。その後希望者は二次会へ。この場所は平成三年四月を第一回目とし、ここでの開催が定例化しています。会報第三号では、大分気負って戦時中の学校生活や工場へ動員の事などを書きました。何時までも昔の事を言っても始まらないので、二年振りに旧友の顔を見たくて飲みに来た仲間、卒業以来46年振りに現れ

た仲間の名前でも紹介しましょう。 齢みな65才。



加川 瀛介 後藤 一雄
後藤 和信 沢西 博信
関 勉 八田 庄一
深尾 孝 前田 俊夫
森下 壹雄 安池 保
山本 昭吾 油井 徳治
因みに、加川君は戦時中疎開で転入校して来たが、戦後いち早く転校。現在は、雑誌「世界の艦船」ほかに軍艦・自衛艦などのイラストを描いている海軍通で、異色の人。

会報二号で紹介された、日本画墨絵画家の後藤和信君と共に同期の誇りです。次回は平成九年十月開催予定。同期の諸君大勢出席を乞う。丁度その翌年四月は、母校静岡一〇〇才の誕生日で、特に十月十日には特別イベントが計画されているそうです。ともに静岡百周年をお祝いしたいと思います。

後藤 一雄

関東地区会に 初めて参加して

三十六年卒

昭和三十六年三月、卒業と同時に地元企業に就職、四十二年四月、大阪に転勤、万博を挟んでの六年間の大阪勤務を振り出しに、東京十三年、清水二年、東京一年、九州五年の転勤生活を経験しました。

一昨年七月、再びの東京勤務となった折、同僚から同窓会関東支部の存在を知らされました。

更に、縁とは不思議で、担当関係先の責任者が同期の藤田君であった事でした。三六会の開催を聞き、早速幹事役の鈴木君に参加の意志を伝え、その日を鶴首していました。

当日(二月二十日)関東



地区は未明から今冬初めての本格的な雪となり、交通障害も心配されましたが、気持ちに通じたのか家を出るころには天気も回復し、無事葉山の会場に到着出来ました。

学生時代の面影を残し直ぐに判った人、名札を見てもなかなか思い出せない人など、殆どの人が卒業以来の久し振り、という事で日頃のご無沙汰を誠に申し訳なく思った次第です。

風呂での裸の付き合ひ、懇親会での献杯などが重なるうち、時の流れと共に学生時代が懐かしく思い出され、多額の月謝を払ったと思わせる素晴らしい歌が数多く飛び出し、いやが上にも会は盛り上がりました。

仕事に、酒に、歌にと皆頑張っている―さすが名門静岡だなあ―と感心すると共に、自分もその仲間なんだと改めて嬉しくも思いました。

前夜の酒を朝風呂で絞り出し、美味なる朝食を馳走の後解散となりましたが、時が短く感じられる楽しい一夜を過ごすことが出来、又、一度に大勢の新しい友が出来た気分とも相俟って幹事役に対して、ただただ感謝の気持ちを伝えたい。

この会が続く、自分の身体が自由である間は、必ず参加しようと思心に決め、帰路につきましました。

村田 光里

関東で 初めての同期会

三十二年卒

三月九日(土)午後三時から、東横線・学芸大学前のパスタ店「バーニョ・バーニョ」において、関東地区同期会が開催された。

新たに編纂された名簿から判った会員も含め、四〇名に案内、二十名から出席の関係を結局十六名の出席となった。



思い出話やら近況報告で、瞬間に時間は経過した。六十才も、もう手の届くところまできている面々も、ますます意気軒昂で近々の再会を約し、解散。

第四回飛翔会

四十二年卒

関東在住の43年卒同期会(飛翔会)は、昨年11月25日(土)ザ・ロイヤル銀座店にて、四回目を開催した。

七月の総会以来の集いである。仕事の都合で、いつもの顔ぶれに不参加があったのはいささか寂しかったが、初めてという参加者も含め12名が出席。

団塊エイジも、はや46才、かつてのマドンナ嬢達四名を囲んでの会話は、静岡時代の思い出話から、仕事の話、子供の教育の事など、時折り、水割り交換してくれるバーニョ・バーニョには目もくれず、話題はいつ果てるともなく続き、このまゝ別れるのはいかにも惜しいとなり、恒例の二次会はカラオケパブへ全員で繰り出した。

それぞれ、自慢のノドを披露し合い、大いに盛り上がり、七月の総会での再会を約し、帰途についた時は終電近くであった。

瀧 浪 利 信

SCごるふ同好会

白龍白眉白球

平成七年

「人間はいいが、性格が悪い」と言われている小生、第一回のSCゴルフの時から思っていることは「ブービーやメーカーになるのに、ゴルフに参加する人は「いいヒトだ!」“ということでありマシタ。左に掲げた表が、良くその間のことを物語っております。

同窓会/関東支部はココロの集まりなのでアリマス。平成七年一月一九日の夕刻、前年同様一五名のメンバーが那須小川ゴルフ・

Table with columns for year (平成四年 to 平成七年), tournament name, winner, runner-up, and third place. It lists various golf tournaments and their results.

クラブの宿泊ロッジに集合しました。前夜祭が始まりました。会場は、懲りもせず中国料理/大華十八番、メンバーに硬式野球部出身者が多いせいか、飲み且つ食らうこと華やかにして、実に楽しいお祭りになりました。「ゴルフよりも前夜祭!」は我が同好会のモットーであります。



那須小川ゴルフクラブに勢揃いのめんめん

今回奇しくも同じ98回にて優勝をモノにされた。(コレ不思議) 準優勝の宮杉さん(29年卒)は初参加80台を出せる数少ない実力者の一人として、本同好会にとっ

【但し、壮年者検診は真面目に受けませう...】 第八回SCゴルフ大会/那須小川年度例会は、平成七年一月二〇日(金)八組二八名の参加にて賑々しく行われる運びとなり、朝九時四五分アウト・インに分かれスタート。

Table showing tournament results for 'アウト1組' through 'アウト4組'. Columns include name, year, and scores for various categories like 'アウト', 'イン', 'グロス', 'ハンディ', 'ネット', and '順位'.

Table showing tournament results for 'イン1組' through 'イン4組'. Columns include name, year, and scores for various categories like 'アウト', 'イン', 'グロス', 'ハンディ', 'ネット', and '順位'.

随想

雑感

服部善男 (30年卒)

服部 (卓球)、洞口・熊切・桂田 (新聞)、青木 (放送)、良知・久保 (弓道) 以上30年卒。

周りから歯が抜けるが如く訃報が伝わって来る。いい日旅立ちではないがいい奴程、早く旅立つ。浜松で生地染色に励んだ久保。

「初富士の悲しき迄に遠き哉」平成六年の賀状は良知の辞世となった。

永年の教育で賞を得た青木も、在学中は愛嬌のある放送を流してくれた。

取材・編集と私達と共に校内紙作成の桂田。

熊切・洞口とは東京で、少し乍ら縁を得た。

同姓同名故、同窓会で過去の人になった私。

一昨年、NHKのTVドラマ「花の乱」で一休禅師が「父母に呼ばれてこの世の客となり、用がすんだらはい、さようなら」という戯れ歌を残していたが、この世へは自分の意志を超えた意志によられた。

用があるが一過の客にすぎない。そして、宇宙の大きなリズム (23才) の話である。



大きなリズム (23才) の話である。

芸大出の二人の青年が出撃前日、今生の想い出にと知賢から鳥栖市迄、駿足の英雄アキレス同様にマラソンで出かけ、小学校のピアノで、たまたま奏でた曲がベートーベンのソナタ月光であった。

別の友は生徒と共に「海ゆかば」を歌って翌日青年達は死出の命令と共に南海に散って行った。

ここで悲劇が起こる。海ゆかばの青年機が機関故障でUターンをした。軍は英霊に仕立てた男に街を歩かれては困る。

気遣いじみた当時の、人間の尊厳からはみ出た兵への暴力や弾圧は、映画では描き切れない。

耐えがたき心を殺し、戦友と歴史のため、彼は話し始め映画が出現した。

昭和・平成の御世で、首をしめられただけで、命や名誉をとられなかっただけでも有り難いわけである。

最近、フランクリン・ジャパンという会社が出来た。

雷情報を流す会社である。命名の由来は十九世紀米国のステーツマンで発明家でもある、ベンジャミン・フランクリンからとった。

彼はこの事を言っている。最も信頼出来る三つの友として、「老いたる妻、老いたる犬、わずかな現金である。」と、味わい深い言葉である。

私には老犬 (人間で80才芝雑種) がおり、犬の忠実さは良く解る。これらの言葉は解るが、今一つ「走れメロス」の心を加味したい。

私達は、常に校歌と共に学生時代をすごした。入学・卒業・応援と事ある毎に斉唱した体験を共有している。

この事はブラスバンドの演奏と共に消え去らない。

27年卒業の先輩、金田、前田、白鳥の三氏と同級であった兄は、ある年、青空の希わぬ梅雨どき事故死した。

軍神社裏の法蔵寺で葬儀を営んだ。

ご多忙中、殆どの同級生がご参列下さり、式次第は順調に進行して行った。

最後に同級生一同が起立され、突然に男性合唱が始まった。

本堂に木霊するが如く、天 (白龍) にも届けと、悲しみの中から響き渡った。私は雷に打たれたような電流を感じた。

全く予想だにできなかった。メロディーが流れたからだ。

♪波譜調を奏すれば、琥珀とけゆく駿河湾...とあふれる涙なしには合唱出来なかった。

校歌と友情のすばらしさに居を構えた。

窓外漢

皆さんはどんな余暇をお過ごしですか

健康テニスをしませんか

山島利一 (32年卒)



静商を卒業し四〇年、あと数年で還暦を迎える年になった。田舎の中学校 (蒲原) の、同級会メンバーから、還暦には盛大な旅行を企画中、今から積み立てするから金を送れと言う。最近同級会にはご無沙汰しているのそのお叱りか、しかたなく送った。

静商の、静岡の同期会とか、この関東支部総会にも出席したことがない。

出席したいのだが、開催日が偶然にも所用にぶつかることが多い。

在校時に、所属していた英文タイプ部の、在京の連

中とは以前よく集まっていたが、この二三年は会っていない。先日、関東在住の同期会が初めて開かれた。一〇数名の参加があり、卒業以来というのが、殆んどだった。ので懐かしく楽しかった。幹事役の黒瀬君とは久しぶりに会ったが、髪の毛がどんどん後退しており、人しながら淋しい。世話役の宗野、中村両君には感謝し、またやっても送りたいと思う。

さて、私は東京銀行へ入行し、五年程前、信用金庫が大蔵省から外為公認銀行の認可を取得する為に出向し、そのまゝそこに居付いてしまった。住まいは、転勤と共に変わったが、二〇年前今の所で汗を流しませんか。

随想

台湾での出会い!

黒瀬 明 (32年卒)

人にはそれぞれ形は違っています。「色々な人との出会い、巡り合い、すれ違い」はあるものです。

些か旧聞に属する話になりますが、平成五年一二月に妻と共に訪れた台湾での経験は、思いがけない「出会い」がきっかけで「人の善意」に触れることとなり、今なお、思い出として残っています。

私はかつて日本国であった台湾の花蓮という所で生まれ、終戦で引き揚げてくるとの六年余を花蓮で過ごしました。

小学校に入学した頃は、太平洋戦争の真っ只中で台湾、とりわけ花蓮は沖繩に近いこともあって米軍の攻撃を受け、女子供は強制的に疎開させられ、私も山地の先住民族である高砂族(今はアミ、ヤミ、タオ、タイヤル族と呼ばれている)と寝食を共にした苦い経験が数少ない記憶として残っています。



訪れた目的は、引き揚げ後50年の節目としてや、僅か六年余とはいえ、

「折角花蓮まで来て見つからないのは残念でしょう、私が探してみましよう!」と意外な申し出、時間も遅いので辞退しましたが「親戚、知人、友人で、旧い人達に聞けば判るかも」と、早速当時の住所を頼りに行動に及んでくれたのです。

花蓮は生まれ育ったいわば故郷であります。50年振りにこの目で見定めたい!

との懐古的思いや、郷愁にかられる気持ちから現地行を思い立った訳です。予め、現地の旅行社に出生地(連雀通り)や小学校(朝日国民学校)の所在地を調べてもらうよう依頼しておいた処、連絡不十分等から手掛かりがつかめず、諦めざるを得なかったのは残念無念でした。

仕方なく故郷の土と空気を直接肌で感じることで、当時を偲ぶを良し「としたのですが...」

世の中には思いがけないことが起こるもので、花蓮の夜、露店を散策している時「ご旅行ですか?」と、60才位の紳士が流暢な日本語で親しく話しかけてくれたのがキッカケで、旅行の目的等を話すうち、件の紳士(呉さんという方)が

「折角花蓮まで来て見つからないのは残念でしょう、私が探してみましよう!」と意外な申し出、時間も遅いので辞退しましたが「親戚、知人、友人で、旧い人達に聞けば判るかも」と、早速当時の住所を頼りに行動に及んでくれたのです。

30分程経って、呉さんから「子供のころ住んでいたところも、通った小学校も判りましたよ。」とマイカーまで用意して、迎えに来てくれた時は一瞬驚いた反面「良かった!」と思えました。

唯、正直いって異国の地で見ず知らずの人からの申し出故に、反射的に「不安と危険」を感じたことも事実ですが同時に「人の善意、好意、親切心」を素直に受け入れられず、疑った自分を恥ずかしく思いました。

さて、呉さんの案内で訪れた当時自宅であった「連雀通り」は現在、「節約街」と変わり、商店や飲食店などが多く住宅街の面影はあまりありませんでした。又、自宅のあった「番地」の所在地までは判明しませんでしたので、「この辺かな」と推測するしかなく、一方、小学校は当時の旧正門が残されており、臆ろげながら50年前の情景がよみがえってきました。

今は亡き両親と暮らした日々の生活を思い浮かべ、遠い記憶を辿るうち、年甲斐もなく何か胸にこみ上げてる熱いものを覚えさせました。

偶然だったとはいえ、呉さんとの出会い、巡り合わせにより、旅の目的が達せられたのも、呉さんの「心温まる善意と、好意と、親切心」によるものです。

通りすがりの一日本人に色々と手を尽くしてくれた行為は少々大袈裟かも知れませんが「人間としての純粋な心」「血の通った思いやり」に触れたようで、感謝感激であり、来て良かった「そう実感しました。」

戦前の花蓮は人口の約40%を日本人が占め、多くの現地の人も日本の教育を受けたこともあって親日的であり、今回のことも日本と台湾との友好(絆)が今なお生きている証しではないかと思いました。

さらに呉さんと私は、学年や学校は違っていますが、同じ時期に花蓮の小学校で学んだという因縁が、二人を結び付けたのかも知れません。

今、台湾は中国大陸との関係が緊張化し、大きく揺れ動いており非常に心配です。

私にとって台湾は忘れられない思い出の地であり、故郷でもあります。

今年も呉さんから派手な新年の挨拶が届きました。近い将来再び、「暖かく食べ物の旨い平和な台湾」を訪れ、呉さんとの再会を果したい、そう思う今日この頃であります。

マスコミ登場

幹事長 海野 昭さん (30年卒)

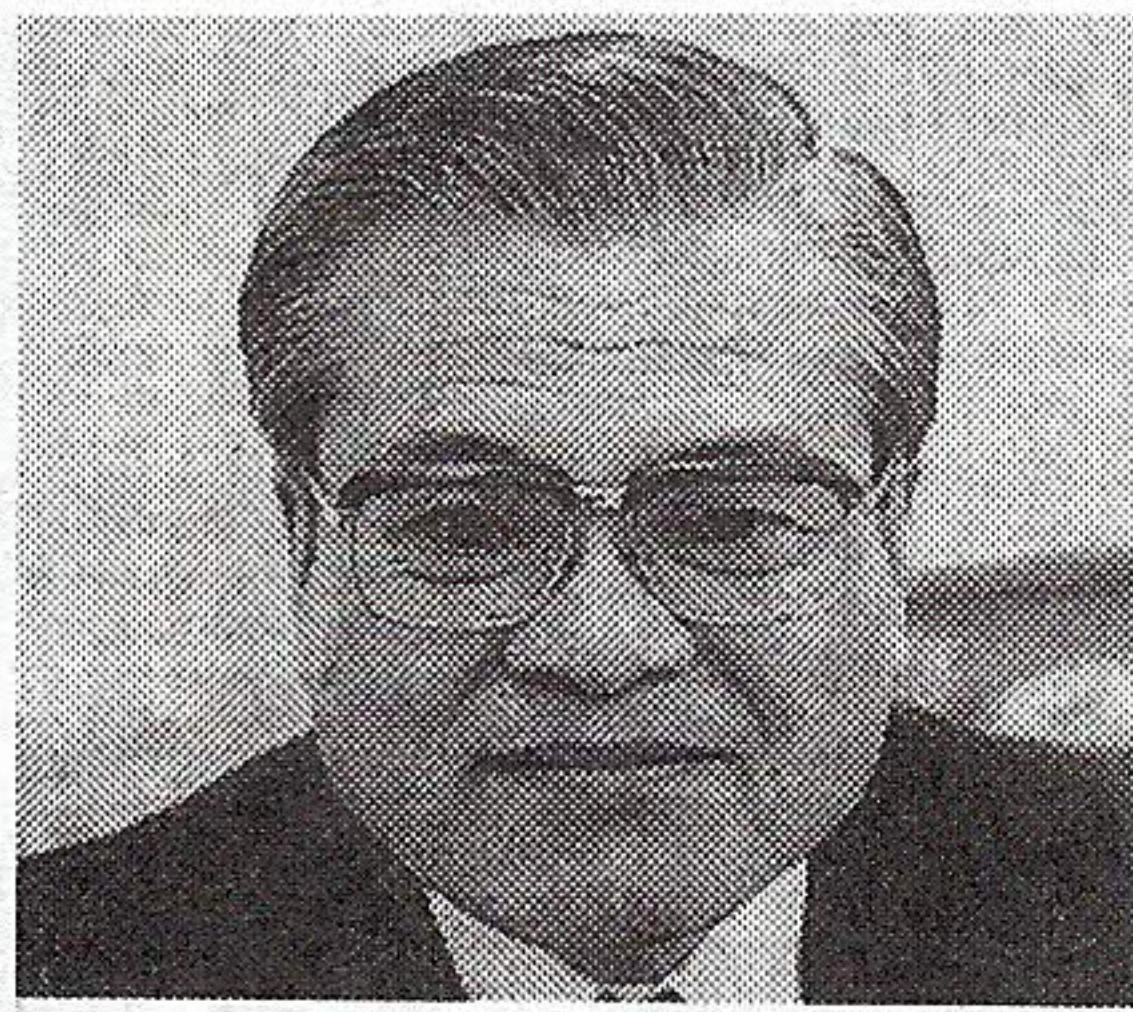
投資顧問会社の、社長業を務めるかたわら、関東支部の、幹事長として支部運営に多大の尽力を傾注してくれている海野昭さん(30年卒)は、最近マスコミへの登場回数が増えています。



海野昭さん (30年卒) 投資顧問会社の社長業を務めるかたわら、関東支部の幹事長として支部運営に多大の尽力を傾注してくれている海野昭さん(30年卒)は、最近マスコミへの登場回数が増えています。

ひととき

(静岡新聞・ひととき)



海野昭さん 静岡新聞 ひととき 投資顧問会社の社長業を務めるかたわら、関東支部の幹事長として支部運営に多大の尽力を傾注してくれている海野昭さん(30年卒)は、最近マスコミへの登場回数が増えています。

☆ 定例総会開催のご案内 今年7月13日(土) 築地・スエヒロで開きます。同期・同友を誘い合わせ奮ってご参加ください。

お知らせ

—ご招待する方々— 今年度(平成8年)の卒業生で、関東地域に就職、或は、進学された方々を関東支部は同窓会の総会に招待しています。 —懇親会費不要の方々— 卒業されて4年未満の方(今年は、平成5年から平成7年までの卒業生)の、懇親会費は不要の特例があります。 どうぞ気軽にご参加下さい。

春季県高校野球・中部地区予選

県高校野球史に残る 延長17回の死闘・清商に措敗!

▽中部地区3回戦 (5日 松前)
静岡商 3000 0000 0000 0000 0000 110
清水市商 1000 0000 0000 0000 0000 54
(延長十七回)
▽三塁打 中山(静岡) 増田、中山、村松(静岡) 川口(清)
▽加藤 山本、橋本、坂口

関東地方在住者として、

母校の試合を観戦する機会
がかなり多いと自負してい
るが、行く先々で、必ずと
言って良い程白地にSの帽
子を被り、観戦されている

再び 強い 静商 を願って

長谷川 勉 (31年卒)

お立場に
あつての
ことであ
り、いつ
も敬服し
ている。

昨年、
関東支部
同窓会懇
親会の会
場で、先
生が私に
「この数

年の内に間違いなく甲子園
には行けると思う。」と言
われた。

その自信は、日頃、直接に
試合をご覧になった実感と
して、お話しされた言葉で
あろうと思っている。

静岡県
高等学校
野球連盟
会長を兼
務する校
長先生の
熱意が、
野球部員
に伝わり
ない筈が
ない。

清水前
監督と戸
塚監督の
ご指導と
選手の努
力で、力



甲子園出場を切望 応援に精出す
筆者とユニホーム姿の戸塚監督



強いチームになったことが
素人目にも判る。
エース神谷投手の成長と、
上級生の上達、有力新人部
員の加入で投打のバランス
がとれている。

新チームとなった昨秋
以降の勝率も高い。
練習試合ではあるが、宿敵
浜松商業に、八対〇でコー
ルド勝ちしているほか、春
の選抜大会で甲子園に出場
した浜松工業戦でも、一勝

一負と善戦している。
焼津球場で、戸塚監督と
会う機会を得たが「近い内
に結果を出します。」と自
信に満ちた言葉には、大い
に勇気づけられた。

見出しは春の大会の新聞
記事である。
残念ながら措敗したが、
内容的には常に先行し主導
権を握り、有利に試合を進
めていた。

防が続いた。
不運な打球で敗れはしたが、
県下で屈指の投手を擁す相
手に対し、堂々の試合振り
であった様に感じた。

なにしろ、清水商業の加
藤投手は左腕の速球本格派
として、プロ野球関係者か
らも注目のまゝで、この大
会でも前の試合で、七回コ
ールドゲームの参考記録な
がら、ノーヒットノーラン
を達成した程である。

卒)も母校にエールを送っ
ていた。
更に余談ながら、ネット
裏の応援で、思わず戸惑う
ことは「凱歌を挙げて」の
応援歌が頻りに演奏される
ことで、年輩者には馴染み
のない歌だと思ふ。

前監督の清水克俊君とは
同期会などで話しをする機
会が多いが、新人の発掘や
選手の育成、進学指導、就
職の斡旋など、大変なご苦
労がある様だ。
野球ファンとして、一喜
一憂し、勝手なことを記し
ているが、名門復活に対す
る関係者のご努力に感謝す
ると共に、私達は一生懸命
応援という形で、これを支
えて行きたいと思ふ。

『強い静商』の復活を、夏
の大会で総括して欲しいも
のである。
夏の本番が待ち遠しい。

胃の痛くなる様なゲーム
展開であったが、素晴らし
い試合で、一緒に観戦した
女房が、『船橋から応援に
来た甲斐があった』と私を
嬉しくしてくれた。

四月二十九日に行われた
静岡高校との定期戦は3対
1で快勝した。

今年の静高は、春の地区
大会第1シードの強豪で、
主戦投手で四番打者の岩瀬
選手は大リーグ・ドジャ―
スから、身分照会を受けた
逸材と聞いている。

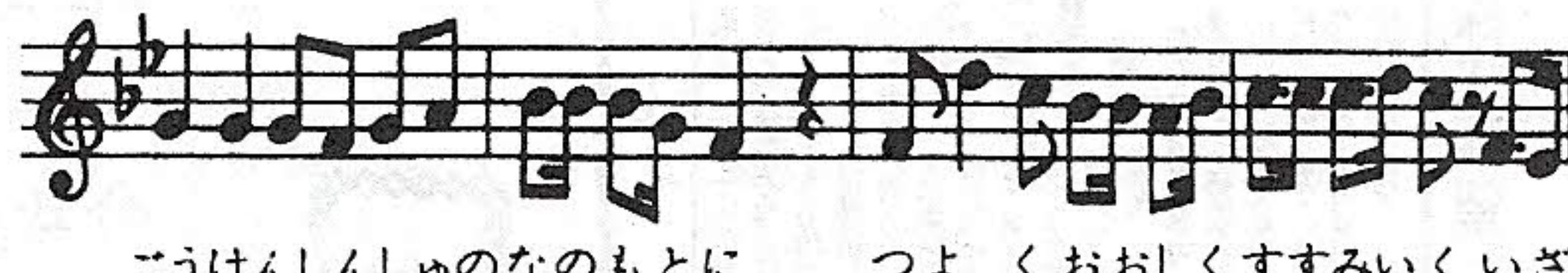
昨年の定期戦では1対16
で大敗したが、通算38回
目となる今回はエース神谷
努君の好投で、昨年の借り
を返した。

この勝利の価値は大きい。
【余談ながら、ネット裏で
はOBで広島のエースとし
て活躍し、現在は評論家で
TVの野球解説でおなじみ
の、池谷公二郎さん(46年

応援歌

凱歌を挙げて

作詞作曲 大石 肇



甲子園球場で肩を組み
声高らかに
歌い上げたいものです

『凱歌を挙げて』

凱歌を挙げて 意気高らかに
勝利の旗を 翻がえす
剛健進取の名のもとに
強く 雄々しく進み行く
いざ 戦わん勝ちどき挙げて
静商 静商 おお我が母校

強い静商野球部の復活を!!

瀧 安 治さん (34年卒)

静商の思い出って、たくさんあって特にこれというのはないんだな。

在学当時、野球部に籍は置いていたけど、ユニフォームを着て練習したのも僅かな時間しかなかったし、ましてSEISHOとマークの入った試合用のユニフォームの袖を通した記憶も数回しかない。

慢性腎臓病で野球はおろか、ジョギングさえもドクター・ストップだった。そんな状態の私が、どうしてプロ野球選手になってしまったのか自分でも信じられない。

身体も丈夫ではない、野球の技術も訓練されていない、筋肉だってスポーツ選手の手ではない。

理想は「夢みる夢男」



瀧さん 監修・指導のビデオなど

なにも何故? 過激な運動を、禁止されていたのに……。

ギーも進路をとるんだと思う。だから山の頂上に向かって歩いて行けば、やがて一番テッペンに立つことができると、それが大変。向かう目標が、明確でなくなってしまう。

好きな野球をやれないから、悔しいし、淋しいし、悲しい。

それなりにプライドを持って、誰からもうしろ指をさされなくて、立派な立ち居振る舞いをして生きていかなければならない。財が貯えられれば、減らないように気を付ける。心配が、不安が大きなウエイトを占めるようになってくる。

この様な自己流の「努力」、精進の法則「みたいなもの」を生活する時の基本に置いていく。巨人軍時代、「九年連続日本一」も味わったし、コーチとしての日本一も経験した。

もう夢だけがどんどん膨らんでいったね。夢さ、希望だよ。空想だったかもしれない。

病氣と、プロ野球と、日本一の道程の中から得た、私なりのスタイルに満足している。

今風の言葉で言えば「シミュレーション」の世界に没入していったんだと思う。

人間の努力は夢に向かっている。私の人生は、『夢見る夢男』で終わらせたいと思っ



巨人軍時代の瀧さん

巨人軍時代、「九年連続日本一」も味わったし、コーチとしての日本一も経験した。

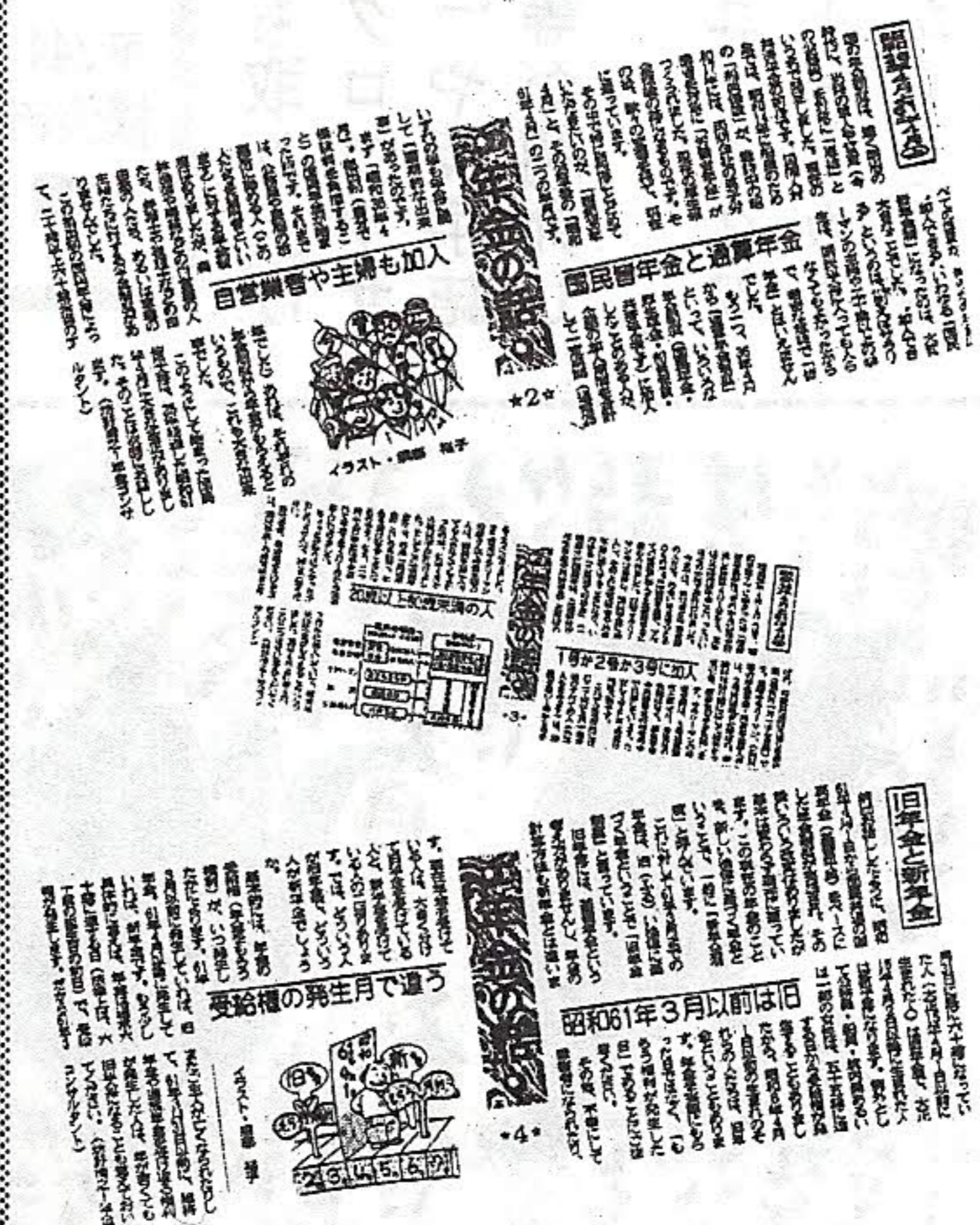
病氣と、プロ野球と、日本一の道程の中から得た、私なりのスタイルに満足している。

ためになる年金の話

東京新聞に注目!!



昭和35年卒の、坊野清之氏が「ためになる年金の話」という



にわたって、年金の仕組み、誤解され流布されている部分等について、週一回分かり易く解説していく。筆者の坊野清之氏は、静商卒後、国際基督教大学を経て富士銀行に入行。銀行業務のかたわら社会保険労務士の基盤となるものである。

坊野 清之さん (35年卒)

若いうちから対応しておき、備えあれば憂いなし、の豊かな「老後」を迎えたいものだ。なお、この連載は、氏の弟の坊野秀美氏(41年卒)の経営する通信社を通じて配信されてお

タイトルで、全国の地方紙に現在連載中だ。掲載社は目下のところ、北海道新聞、東京中日新聞(月曜朝刊)、愛媛新聞の三社で、この一月から一年間

関東在住の同窓生は「東京新聞」で読むことが出来る。(また、同紙日曜版では、秀美氏が飛鳥圭介の筆名で「おじさん図鑑」というコラムを連載している。)

載中だ。掲載社には目下のところ、北海道新聞、東京中日新聞(月曜朝刊)、愛媛新聞の三社で、この一月から一年間

失敗をしない為の努力や、不安や心配の為の努力精進は考えたこともない。どうせ生きるなら、明るく、どこまでもキラキラした夢一杯の目で、徹底して歩いて行きたい。

現在、少年野球の指導で日本全国を歩いている。NHKと、社団法人日本プロ野球選手会の、二つの少年野球教室を任されている。

現在、少年野球の指導で日本全国を歩いている。NHKと、社団法人日本プロ野球選手会の、二つの少年野球教室を任されている。

自分のライフワークとして、この少年野球に、この度、マンガによる解説書が完成した。

何はともあれ、私としては、強い「静商野球部」の復活を、誰よりも期待していることを申し上げておきたい。

現在、少年野球の指導で日本全国を歩いている。NHKと、社団法人日本プロ野球選手会の、二つの少年野球教室を任されている。

自分のライフワークとして、この少年野球に、この度、マンガによる解説書が完成した。

何はともあれ、私としては、強い「静商野球部」の復活を、誰よりも期待していることを申し上げておきたい。

季節の絵手紙は ふたりの合作

静商一家

四季折々のうつろいを、『こんにちは』ではじまることばと絵を手紙に託し、その暮らしぶりを見事に表現し、楽しんでる横浜在住の萩原さんご夫妻は、お二人とも静商出身の異色のご夫婦である。

最近、マスコミを賑わしている絵手紙といわれるものは、絵も文もひとりで書くものだが、萩原さんの作品は『ご主人の書いた絵』に、独特の書風で『奥さんがコメントする』という、夫婦による共同作業で全く独自の世界を醸し出している。

卓さん(34年卒)と久子さん(旧姓村松さん・40年卒)は、互いに商工中金に勤めている時に知り合っの職場結婚。

久子さんの兄信吾さんと卓さんとは同期生、さらに信吾・久子さんの父、千蔵さんも昭和五年の静商卒と



語・書道)に薫陶を受けることも多く、卒業後も『書』を続け、先生に紹介された「奎星会」の公募展に何回か入賞を果たしている。

又、卓さんの転勤に伴って、帯広に住んでいたころ知人のすすめもあって短大に入学、教職の資格を取得して高校の講師(書道)も勤めるなど頑張り屋の本領を存分に発揮している。

刺し子も久子流

さらに、刺し子の分野でも一家言をなしており、着物や帯など、彼女独自の刺

異ツ歳面談

萩原 卓(34年卒)さん

萩原久子(40年卒)さん

ご夫妻

〒244 横浜市戸塚区戸塚町3134-18
☎ 045-864-4278

し子様式を発展、確立させて、まったく自由な、型にはまらない作り方、着方で、毎日の生活をエンジョイしている。

素人画伯?

各地で、刺し子の個展を開く久子さんに刺激された卓さんは「子供の頃から絵が好きで、毎日のように大井川の川辺や、竹藪に入っ

とは言うものの、散歩の途中に摘んだ野の花や、季節の野菜、果物、魚、地方で

の節目ごとの行事などを、見事なタッチで表現している絵を拝見していると、とても素人画伯の作とは思えない。

卓さんの描く水彩画は、余技として公認されてからは会社でロビー展を開くなどして、更に才能を開花させている。

別々の人が書いたとは信じられないくらいピッタリと合った絵と文字。

まさに、息の合ったご夫婦だからこそそのアートと言えらるだろう。

絵手紙も刺し子も、共に

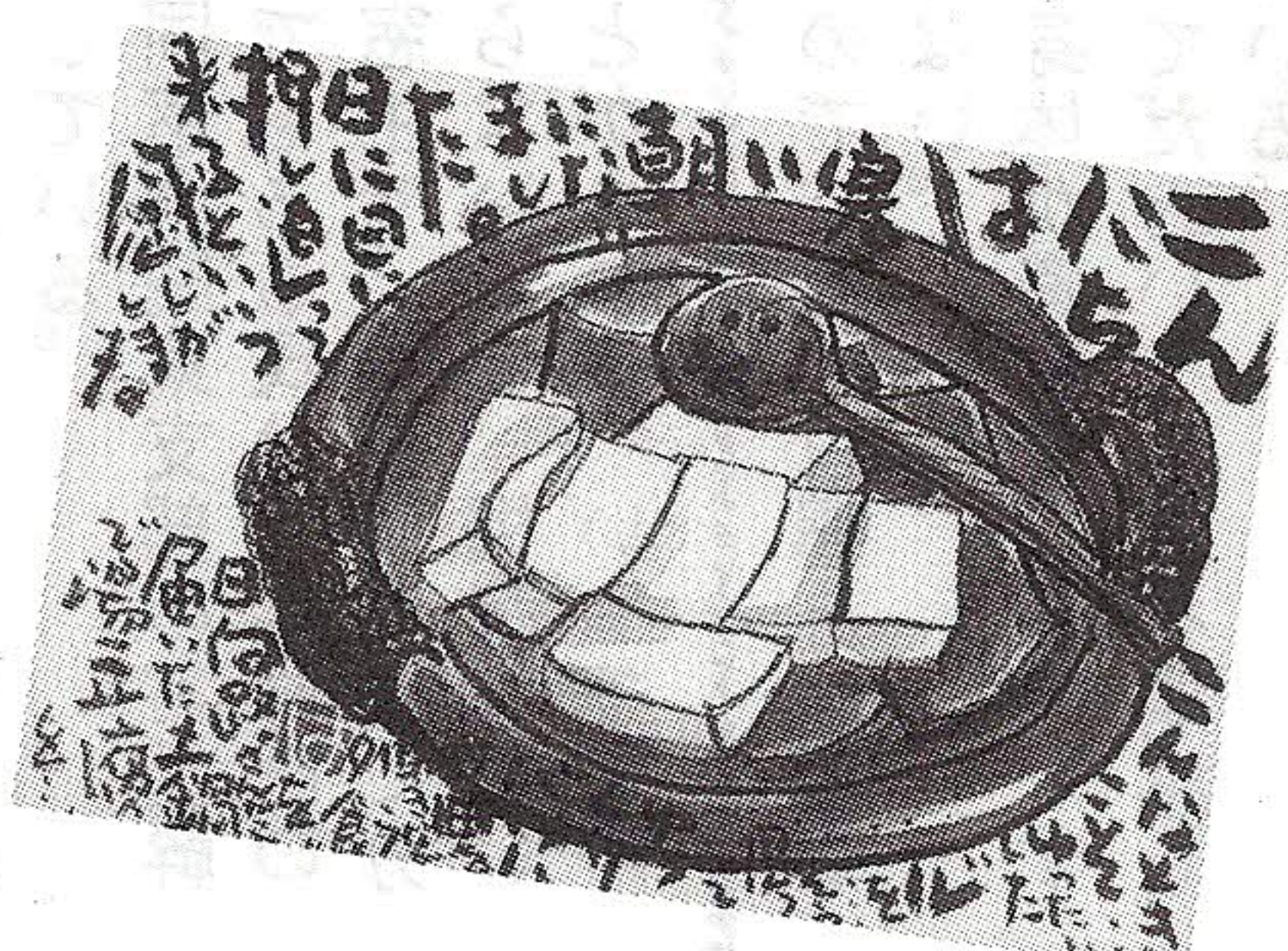
マスメディアにも取り上げられ、女性誌「クロワッサン」「家庭画報」や英字誌「JAPAN」等が紹介している。

文字と絵の、ユニークな組み合わせが菓子メーカーや醸造会社などからも注目され、包装紙や、酒のラベルなどに原画を提供していることもあり、ファンも相当増えているようで、カレンダーや絵葉書などに、との希望もあるとのこと。

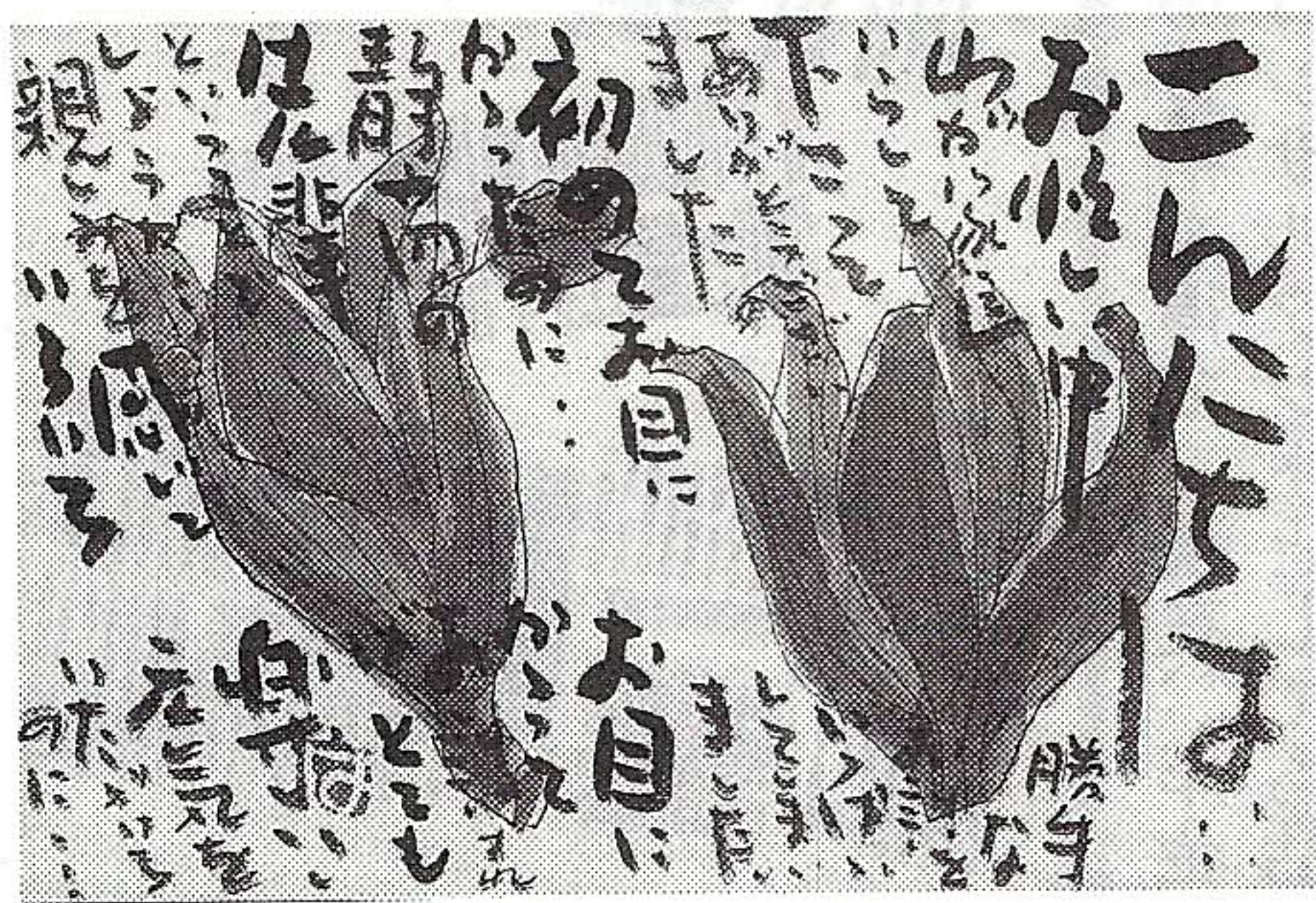
お伺いした高台のお宅の庭には、梅や桃など、実なる木がいっぱいで、玄関

に入れば、民芸品の店を思わせる数多くの調度品が所狭しと並べられ、居間の中央には、今時珍しい薪ストーブがドンと鎮座。

と、おっしゃる久子さん。庭でとれた、梅の手作りジャムに季節の葛のお持ち成しを受け、萩原さんの持味である独特の感性を充分に堪能させて頂けた一日でした。(S・T)



季節感溢れる絵とこんにちはではじまる独特の文字による作品



募集

「ユニークな方募集してます」
—— 広報部からのお願い ——
関東在住の同窓生・同期生に、このコーナーでは是非紹介したいと思われる、ユニークな方を存じでしたら事務局までご一報下さい。

母娘で参加の 楽しい語らい

海野千恵子さん(44年卒)
志 穂さん(平成5年卒)

「年に一度の同窓会は、改めて先輩方の偉大さを知り、同窓生である喜びを実感させていただける、とても充実した時間です。」

という手紙と共に、東京に勤務している娘さんの、関東支部総会への出席を希望された海野千恵子さん。

静岡から、寄せられた手紙に感激した支部長が、海野さんをご招待。母と娘の、二世代揃っての同窓会参加が実現した。

総会の席上で皆さんに紹介すると共に、懇親会でも和やかな

歓談があり、後日志穂さんから喜びの一文が寄せられた。



(海野さん母娘)

「皆さんが暖かく迎えてくださって、とても嬉しく思いました。」

この場に集まられている方々が、同じ静岡に三年間通い、強い絆があるという安心感を肌で感じました。とても心強く思います。」

静岡今昔写真展

常日頃「関東支部の事は頭を離れないよ。」とおっしゃる、元、支部常任幹事の竹下幸作さん(34年卒)心のつながりを写真に託し

「静岡今昔」と銘打って、懐かしい「思い出の場所」の数々を、送ってくれました。展示した懇親会場では、「こんなに変わったのか」と、感嘆の声も。(好評につき、再展示計画中。)

ブラスバンド部の パフォーマンツ

懇親会場では、クラブ毎の卒業生が挨拶する壇上で突然、口ヒゲをつけフラダースに興ずる面々が現れ、会場は一瞬キョトン。

27年卒の池田博之さんをはじめとする、元ブラス・バンド部のメンバーが、手製のレイを首にかけ、ドリンクの空缶をマラカスに、即席楽器でハワイアンを演奏するパフォーマンスを展

開。途中で口ヒゲの両面テープがとれるなどのアクシデントもあり、爆笑と歓声の渦を巻き起こした。

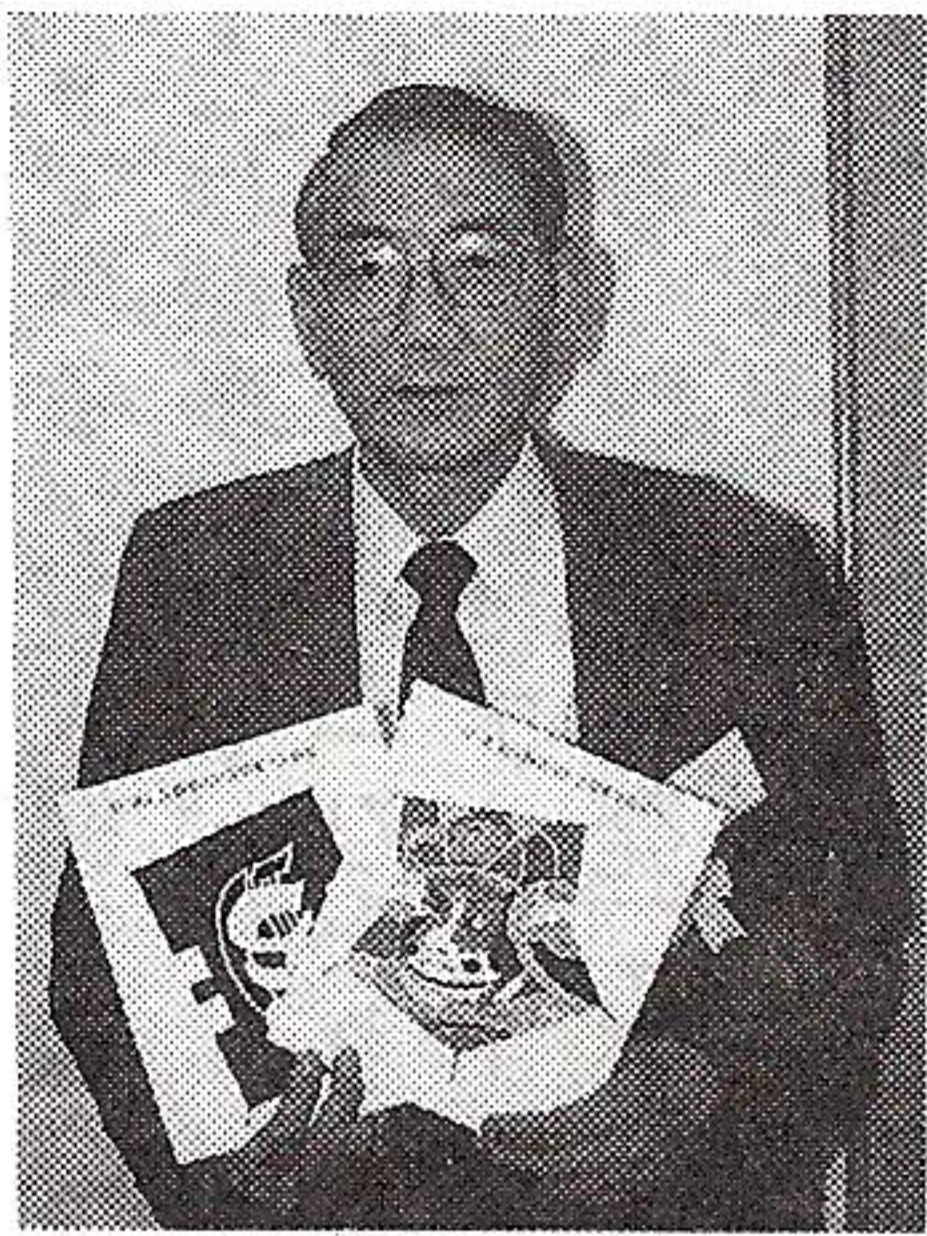


平成7年度 静商同窓会関東支部総会

静商風のプレゼント

ボケ防止には手先を使うのが一番、とペーパーフラワー作りに精を出す、望月健三郎さん、27年卒として運営役員の年次に当たり、総会の運営に新味を出した

いと藤浪稔央さんをはじめ同期の方々の協力のもとに一年がかりで「静商風」の製作に取り組んだ。武者絵、SCマークなど大小揃え、寄付金を拠出して頂いた方々などにお持ち帰り願った。



(製作者の望月さん)

「もう一つの同窓会」 三菱銀行静商会



前列左から 出木 昭(24) 今井 淳(22) 鷺巣三郎(36) 野々瀬悦郎(22) 野村真彦(27) 中列左から 伊東重男(26) 杉山文男(22) 波多野克哉(27) 後列左から 牧野泰雄(28) 大石幸男(31) 佐野昌弘(31) 新村隆博(35) 撮影は小坂悦男(29)・敬称略()内卒業年度

当会は、「三菱銀行静商会」として、昭和27年、故堀重夫氏(大14年卒)他数名によって、後輩の結束と親睦を図るために発足された会であります。

以来、年々の新入行員を加え現在60名に達し、同窓生の心の支えとなり今日まで四十有余年に亘り、三縁(同郷・同窓・同職場)の強い絆により、会の結束を図って来りました。発足当時の、紅顔の美少年を迎える年齢となり、現職者と退職者がほぼ半々となったこともあって、今後とも会の永続的な発展の為に、本会の中に別途退職

者(OB)だけの会も作り、年々発生する退職者の受け皿を作っておくのが良いだろうと言う発案により、六年前OB会がスタートしました。毎年一、二回、都内での会合や、近郊への一泊旅行を行っておりますが、今回のOB会は、合併によって三菱銀行の行名そのものが無くなる最後の日となった三月三〇(三)日に、箱根仙石での開催となりました。当日は、在校時代や行員時代の思い出話、第二の職場での活躍ぶり、年金生活のあれこれ、趣味、健康管理など、年次の隔たりもなく談論風発、和気藹々のうちに夜の更けるのを忘れました。大石 幸男(31年卒)

秋晴れの10月14日(土)、京成柴又駅前集合。フーテンの寅さんでおなじみの小説『野菊の墓』の舞台・西蓮寺、里見公園を巡る散歩道

歩く会 秋は柴又帝釈天 春は花の六義園



同趣好感

のんびりと歩いて来ました。先づ、帝釈天を参拝。重文の価値があるといわれる総檜造りの帝釈堂をめぐり歩き、社殿前で記念撮影した後、江戸川河川敷でのんびりとお弁当。休憩の後、ご存じ「矢切の渡し」で、江戸川を渡り、西蓮寺で喉を潤し、「里見ん菜池公園」から、「里見公園」まで足を伸ばし、快い疲れが出たところで再会を約し、早めに解散。春三月三〇日(土)は、相憎の空模様だったので、参加者も六名と少なく急遽予定を変更。「旧古河庭園」と近回りの「六義園」に切り換え、春雨にけがる風情を味わいつつも早々とソバ屋で盛り上がり乾杯、解散。会長 望月秀雄

仲間に加えて

古柳芳郎 (16年卒)

海野幹事長より、関東支部の会報を送って頂き、懐かしく拝見致しました。私は昭和16年12月の卒業です。

真珠湾攻撃の直後で、日本中が興奮の坩堝でした。もう学問どころではなく、一日も早く軍隊や工場に送り込まれたのか、三ヶ月も繰り上げて卒業させられました。

軍隊では、旧満州とソ連の国境の独立守備隊に入隊し、ソ連軍と熾烈な戦闘を繰り広げ、部隊の大部分が戦死してしまいました。

実は、私も昭和23年夏に、シベリヤから引き揚げて来ました。家では戦死したものと誤り込み、佛さんとして祀られておりました。

静岡商業の、同窓会名簿にも、戦死者の中に名前があったのは当然と言えるでしょう。

私も不精なので、そのままにしておりましたし、ずっと静岡を離れていましたので、同窓会とは縁が切れた様な状態でした。

三、四年前でしたか同級会(四一会)に出席した折、親友の上坂君(関西支部長)が、それはいかんと同窓会に連絡してくれましたので、戦死者から、約50年振りに生き返った様な次第です。

今後は、是非関東支部のお仲間に加えて頂く様、お願い致します。

〒二三八

横須賀市森崎三二一三

古柳 芳郎

☎〇四六八三三四〇一七八

静岡は通勤圏

藤崎 節 (30年卒)

静岡駅新幹線上一番は六時四八分発「こだま号」で、普通車は全車両自由席である。

浜松始発の、この列車がホームに到着する頃には各乗車口に通常十人程並ぶ。

休み明けには数年前まで十八年間続けた私の様に、金帰月来の人が多いので通常の倍ぐらいになる。

常連は東京駅階段の都合で毎朝決まった所に並ぶ傾向がある。

馴染みの顔になり、声を掛け互いに深くは立ち入らないが通勤友達になる。哀れな酷電通勤者とは違う。

Aは建設会社役員で、私と静岡市内のバス停から一緒。Bは楽器関係で駅南から。Cは食品関係で藤枝から。Dは電業関係で清水からと各々が東京勤務。

各人朝刊なり、調べものなりがあるので、朝の席はバラバラにとり互に邪魔はしない。

夕方の東京駅下り17時42分発「ひかり号」は、静岡

着18時45分で、これがベストであるが五人組に逢うことは滅多にない。

22時20分着の「ひかり」で逢えば、互にアルコールが入る。22時07分発「こだま」が最終便であるが、この時はや、疲労気味なので車中では相席となり、世間話やら、ときにはビールなど傾けながらとなる。

いずれも50才超、それなりの責任ある仕事を続けながら家族を大切に、自己の健康に留意しつつ、静岡勤務になるのを心待ちにしている。

出身校も仕事も異なるが

れで、印象深い思い出が数多くあります。

先輩や同期には上手な方がおり、毎年団体戦では、県下でも可成りいゝところまで進むのですが、全国大会にはあと一歩で、出場できませんでした。

私が三年生の昭和29年には、同期・後輩に巧者がおられ、全国大会には出場できなかったものの、甲府で行われた山静大会では見事優勝し今までの苦勞が一瞬にして吹き飛んだ。これが最高の思い出になりました。

三年間の部活のおかげで社会に出ても、チームワ

この欄は親睦コーナーです。同友へのお便りにも、どうぞ！

新幹線通勤五人組として、土曜日の夕方静岡駅で落ち合つての暑気払い・忘年会・新年会やらで一献傾けつ、親睦の宴をやったりもしている次第である。

特別に所属していた卓球部での三年間は練習の明け暮



大森泰次 (30年卒)

皆さんと同じように、在学中は、色々の深い思い出が、いっぱいあります。

「おう！来たな元気そうで何よりだ」こんな会話で

友恋し水曜会

寺田勝美 (27年卒)

昭和36年卒業の鈴木義紀さんが経営する「橋鮎」を訪ねてみました。

同窓生のお店 その名も「橋鮎」

小長井建昭 (36年卒)

お店は、世田谷区上祖師谷七二二二一〇、京王線仙川駅から徒歩六、七分

の閑静な住宅街の一軒店。店の広さは一五坪、一〇人程度のカウンターと六人程度の座敷が三ツある。

静岡時代はバスケット部で活躍した鈴木さん、卒業後、県内の野田合板に就職したが二年後に上京。

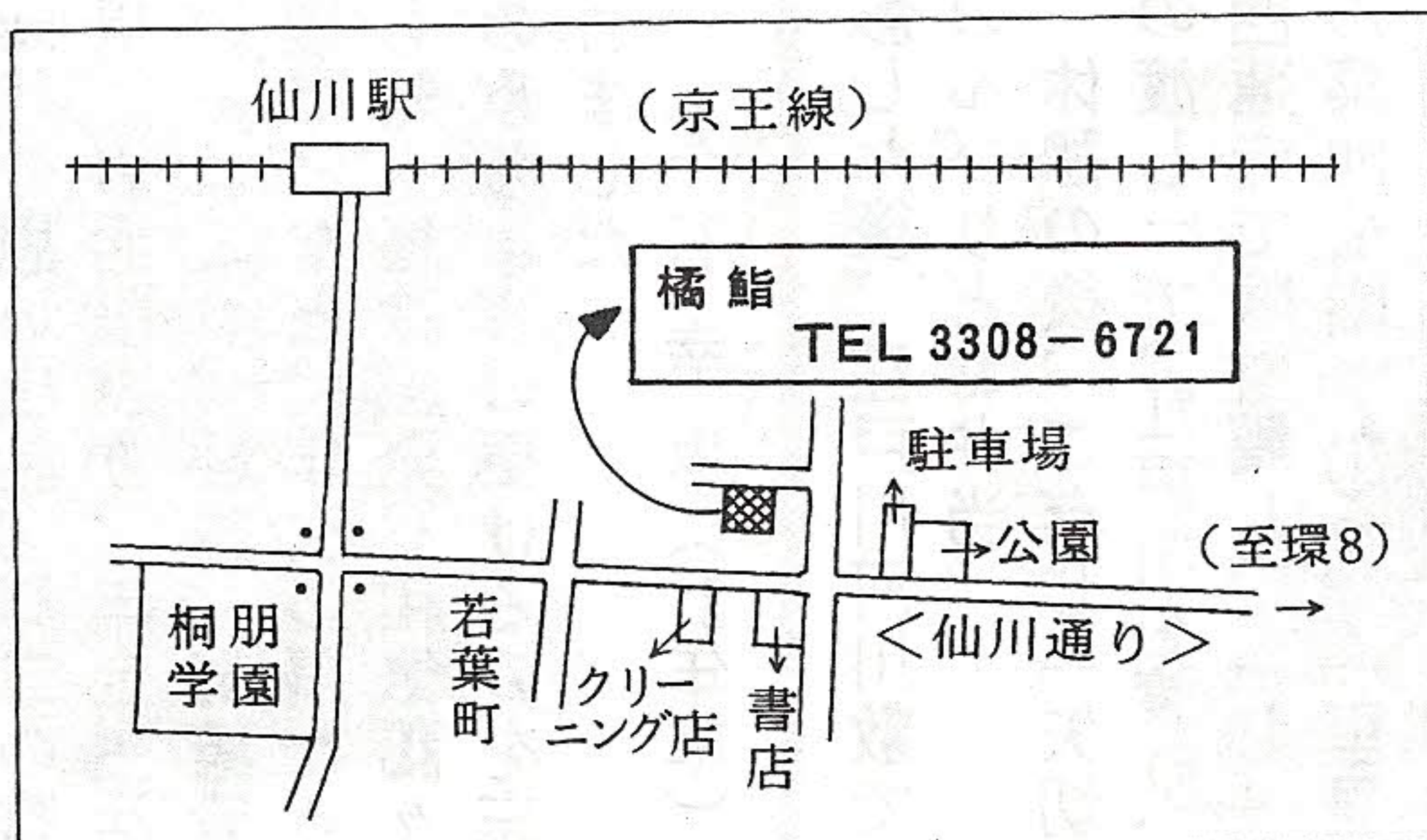
都内の鮎店で修行の後、46年に独立して現在の店を開業した。

(定休日は、毎水曜日) 店の名前は日本人がつけたのだが、故里への思い出が感じられる。

奥様と二人で働いているお店は家庭的な雰囲気でお客様の要望で煮物・焼物・揚げ物と、できるだけ応えてくれるのもうれしい。

勿論、自慢は年期的に入ったご主人の握る鮎。

お客様は中・高年の常連の方が多く、皆様は店の事を「情報交換の社交場」と話していた。



鈴木義紀 (36年卒)

皆、年令相応の格好になって来てはいるが気は若い。

《水曜会》は、幹事諸氏のご苦勞により、メンバーも一人増え、二人増えと、今では20人前後の人数が、年数回の会合を心待ちにしている。

会は、酒盛りとゴルフが中心になるが、例えば友の消息、健康のこと、家庭の近況、会の運営等、話題は尽きる事なく明るく楽しく旧交を温めている。

私のサラリーマン人生も終止符をうつときが近づいているが、こんな時思ふ事は、これからの人生の友として、未永く付き合える仲間が居るといふことは、本当に心強く励みにもなる。

何のわだかまりもなく、自分をさらけ出せる《水曜会》を、これからも大切にしていきたい。

感謝と楽しみ

堀内鋒行(30年卒)



春の選抜、夏の全国高校野球、その季節になると、わが母校静商が、甲子園球場で勝ち進んでいた頃のことか頭をよぎります。

昭和40年代の頃は、七月になるとラジオのダイヤルを廻し、静岡大会の放送を聞いていたものでした。

又いつの日か、名門復活—母校野球部が甲子園で活躍する勇姿を、心から祈願し上京して三五年、失敗と反省を繰り返しながら還暦を迎える事になりました。

郷里を思い出し、閑静な所で生活したい気持ちも心の隅にあります、諦めるしかありません。

私の、今の心のオアシスは、利害関係の無い同期の友との語らい、そして同窓の諸先輩・後輩と昔を懐かしみ、郷里の話に花を咲かせることにあります。

毎年開かれる支部総会に参加し、皆さんと一献酌み交わし、互いに言いたいことをさらけ出し理解し合える幸せが、いつまでも続くよう健康に留意し、家庭を大切に、又逢える日を心待ちし、明日に希望を持ち、静商同窓会であることに誇りを持ち、これからの人

生を送って行きたいと思っています。

歳はとつても未熟者です。ご指導の程よろしくお願い致します。

関東支部発足に際し、幾多の苦難を乗り越えて、準備期間からご尽力を頂き、そして今、会運営にあたる役員諸兄の努力に感謝し、皆さんに逢える日を千秋の思いで心待ちしています。

一服のお茶に

心のゆとりを

井上真紗代(40年卒)

静商を卒業して何年経ったことでしょうか。

私は昭和40年卒なので、はるか昔の思い出になってしまいました。

早い人では子供も巣立っているでしょうし、今高校生ですと言われる人もいます。

地方から受験した私は静商に入学して驚くことばかりでした。

校舎が立派だった事、野球が強かった事、プラスチックが素晴らしく上手だった事など思い出されます。

地味な校風で生活指導もきびしかったのですが、個性的な先生方が多く、先輩からあだ名を教えてもらい感心したこともありました。

昨年久し振りに静岡へ出向くことがあり、電車の中でなつかしい静商生に出会

いました。制服姿も凛としたその姿に、かつての友や自分の姿がだぶり、変わっていないその生徒の真面目さが嬉しくなりました。

皆、青春を通過し人生の折り返しを迎え、益々充実した日々を送られていること、おもいます。

私は趣味でお茶を楽しんでおりますが、社会でご活躍の先輩・後輩の皆様この激しく移り変わる世の中、忙しい日々だからこそ一服のお茶に心のゆとりを取り戻すひと時をもってみませんか。

静岡といえども「お茶」

会員だより

この欄は親睦コーナーです。同友へのお便りにも、どうぞ！

2

です。仕事を合間に飲むお茶にはホッと一息されると思いますが、茶道も又奥深いものがあり良いものです。礼儀や所作も習いますが、人を思いやる心や配りなども習います。

今や週休二日制の時代になりました。個々にいろいろな趣味をおもちのことと思いますが、好きなこと、楽しいことに夢中になる時は、きつとあの静岡時代の年齢になつていふこと、思われまふ。

書き乍ら、ふとなつかしい思いがこみ上げ「波メロデー」を口ずさんでいる私です。

出合いを大切に

榊原香枝(平成5年卒)

卒業して三年が過ぎました。

二年間の短大生活は、それなりに過ごしてきましたが、氷河期と呼ばれる昨今の就職戦線という試練はまことに厳しい経験でした。

資料請求のハガキを出しても、戻ってくるのはほんの僅か。まさに手当り次第という感じのチャレンジでしたし、妥協・妥協の連続で本当にこれで良いのかと悩んだこともありまふ。

そして今、私はアパレル関係の会社で経理の仕事をしていふ。

お陰で学生時代に勉強した簿記などは、経理の基本的な知識として役立っています。

社会という新しい世界に踏み出し、勉強することも多く、アツという間に過ぎた一年だった気がしふ。

縁あって今の会社に就職でき多くの人々と出合い、支えられ、今の私がいふ。

そして、同じ静商を卒業された方々との、出合いも大

切にしたいご縁です。これから、どうぞよろしくお便り致します。

朋友の集い

「水曜会」

関根進一郎(27年卒)

昭和27年度卒業の、我々同期で現在東京周辺に在住の数は30数名。



互いに還暦を迎えるに当たり、益々親交を深めようと

の趣旨で始まった水曜会。二ヶ月に一度の任意で参加者は常時20名前後。喜色満面・和気藹々で語り、話し合うひとときは、我が静商の青春時代を甦えらせてくれます。

昨年は、恒例の関東支部総会の運営委員役を、何とか成功裡に閉じる事が出来たのも、水曜会メンバーのアイデアと、一致団結・静商魂—心意気の賜物であつたと自負しています。

又、心知った多くの良き友を持てた事の喜びを今更乍ら感謝。

人生は先憂後楽—交友をより大切に、思い出多い楽しい今後でありたいと願

い、且つ、母校静商のさらなる発展と、野球部後輩の甲子園出場を常に祈願致しております。

総会を欠席された方々のお便りから

深尾 孝さん(24年卒)

四月に後進に道を譲り、全役職を辞しフリーになりましたので、誰に気兼ねすることなく旅に出られる様になりました。

吾郷裕子さん(32年卒)

原爆と敗戦から50年、よくもこの豊さが得られたものと感慨新です。平和への希求を次代へ伝える義務を痛感します。

坊野秀美さん(41年卒)

同級生の大石正年君(元野球部)が赤坂で小料理屋をやっています。機会があったら飲みに行つてやって下さい。

港区赤坂七の一〇の九 第四文成ビル1F

「御料理・美よし」 三五八三—三八六八

山口 実さん(42年卒)

42年卒業以来、多忙の為一度も参加できず大変心残りです。母校が氣になります。是非皆様と「波メロデー」を「肩を組んで詩いたと思ひます。

お悔やみ申し上げます

河合 勇さん(18年卒)

平成八年四月九日 逝去されました。

静商同窓会関東支部役員名簿

平成 8 年 5 月 1 日現在

役職名	卒年	氏名	〒 No.	現住所	電話番号
支部長	25. 3	湯本 克己	112	文京区小日向1-19-1	03-3947-8018
副支部長	32. 3	中村 達郎	245	横浜市戸塚区名瀬町70-17-606	045-811-0847
副支部長	40. 3	関塚 仍子	344	春日部市南中曾根800-108	0487-54-4743
幹事長	30. 3	海野 昭	173	板橋区加賀2-3-1-522	03-3963-5905
副幹事長	36. 3	鈴木 皓介	247	横浜市栄区小山台2-34-30	045-893-0912
会計	34. 3	鈴木 啓嗣	245	横浜市泉区和泉町7406-8	045-303-5391
監査	27. 3	成川 貞夫	359	所沢市山口1031-5	0429-25-3435
監査	29. 3	富田 修一	175	板橋区高島平3-11-7-906	03-3939-4711
常任幹事	31. 3	長谷川 勉	274	船橋市みやぎ台4-8-15	0474-47-1822
常任幹事	32. 3	宗野 治義	227	横浜市青葉区榎が丘50-8	045-983-6339
常任幹事	33. 3	曾我 和善	167	杉並区荻窪2-28-9	03-3393-0758
常任幹事	33. 3	入野 克彦	285	佐倉市八幡台1-16-12	043-461-1974
常任幹事	35. 3	坊野 清之	343	越谷市川柳町4-133-10	0489-89-1329
常任幹事	38. 3	杉本 博行	120	足立区東綾瀬1-23-3 バル綾瀬204	03-5616-6685
常任幹事	43. 3	滝浪 利信	331	大宮市櫛引町1-841-1-208	048-667-7385
幹事	16. 3	田中 幸太郎	253	茅ヶ崎市東海岸北2-2-30	0467-82-5972
幹事	20. 3	久保 弥六	103	中央区日本橋浜町2-19-1	03-3666-7373
幹事	21. 3	嶋田 安雄	274	船橋市高根台4-13-9	0474-66-7394
幹事	24. 3	後藤 一雄	274	船橋市大穴南1-11-3	0474-64-2458
幹事	24. 3	森下 壹雄	277	柏市東中新宿3-19-5	0471-72-3864
幹事	25. 3	内藤 義人	182	調布市西つつじヶ丘4-23-1, 41-105	0424-88-7803
幹事	26. 3	天野 覚	185	国分寺市東戸倉1-18-2	0423-23-3248
幹事	27. 3	池田 博之	270-11	我孫子市天王台1-24-10-401	0471-83-0946
幹事	27. 3	藤浪 稔央	210	川崎市幸区南幸町2-16-2-301	044-549-5654
幹事	28. 3	知光 敬矩	151	渋谷区西原2-34-2	03-3468-7700
幹事	28. 3	中西 三郎	248	鎌倉市大町5-12-14	0467-24-1801
幹事	29. 3	榊原 貞夫	203	東久留米市弥生1-3-23	0424-65-1891
幹事	30. 3	望月 秀雄	182	調布市国領町6-24-9	0424-87-1497
幹事	31. 3	勝見 勝江	132	江戸川区船堀1-3-7-307	03-3689-6906
幹事	34. 3	小西 文男	300-12	牛久市田宮町210-26	0298-72-4557
幹事	35. 3	中川 尚子	170	豊島区池袋1-13-2	03-3590-4818
幹事	36. 3	横島 啓枝	162	新宿区富久町15-12	03-3353-5057
幹事	37. 3	松田 弘章	243	厚木市船子734-22	0462-24-7864
幹事	37. 3	倉沢 章	168	杉並区久我山4-9-3-201	03-3335-7520
幹事	38. 3	鈴木 一晴	165	中野区大和町3-27-1	03-3337-3872
幹事	39. 3	近藤 正躬	166	杉並区阿佐ヶ谷南2-9-2-201	03-3317-7663
幹事	40. 3	中畑 稔	264	千葉市若葉区桜木町264-9	043-233-6450
幹事	41. 3	小林 吉照	234	横浜市港南区港南台1-16-5-101	045-831-7478
幹事	42. 3	笈 正治	244	横浜市戸塚区下倉田町1877-7-603	045-863-2505
幹事	43. 3	鈴木 幸夫	223	横浜市港北区下田町2-16-29-101	045-561-7199
幹事	46. 3	白鳥 義秀	426	藤枝市南駿河台3-12-16	054-641-8360
幹事	48. 3	青木 洋一	211	川崎市幸区鹿島田974-1	044-541-6154
幹事	48. 3	渡部 広志	285	佐倉市白井1800-59	043-489-1355
幹事	49. 3	高山 房之	272-01	市川市末広2-10-18, 303	0473-58-1318
幹事	51. 3	萩原 克則	358	埼玉県入間市高倉1-9-31-B103	0429-65-5518
幹事	52. 3	小柳 博嗣	223	横浜市港北区綱島東1-22-28, 1-211	045-546-1179
幹事	53. 3	小林 靖卓	277	柏市今谷上町50-1-106	0471-74-7463
幹事	55. 3	増田 忠久	351	朝霞市三原5-2-15-1120	0484-76-8197
幹事	59. 3	前田 宏和	151	渋谷区千駄ヶ谷5-27-11	03-3350-2617
幹事	61. 3	田村 真弓	211	川崎市中原区今井南町515-207	044-711-1975
幹事	63. 3	青島 伸道	223	横浜市港北区箕輪町2-14-30-404	045-564-9654
幹事	H5. 3	大川 友子	270-01	流山市東初石2-118 初石寮	0471-53-7748
幹事	H5. 3	福島 礼子	162	新宿区弁天町147 牛込若草寮	03-3208-3799
幹事	H6. 3	浦田 輝	111	台東区小島町2-8-12-301	03-3862-0409
幹事	H6. 3	谷口 洋一	301	竜ヶ崎市古城3131-43	
幹事	H7. 3	曾根 彰洋	114	北区滝野川4-9-14	03-3907-1742

ご寄付者等御芳名

(敬称略：単位千円)

会員の皆様の暖かいご支援、ご協力に対しまして厚く御礼申し上げます。平成8年3月31日までにご送金頂いた方々の御芳名を下記の通りご報告申し上げます。名簿作成に当たっては、誤字、記載漏れ等のないよう注意をいたしておりますが万一不手際がございました場合は深くお詫び申し上げますと共に、事務局宛ご一報下さいますようお願い申し上げます。


Table with 4 columns: 卒年 (Year of Graduation), 氏名 (Name), 金額 (Amount), and 氏名 (Name). It lists 120 donors and their respective contribution amounts in thousands of yen.

株式会社
亀屋 村越 酒店
代表取締役 村越 英夫 (26年卒)
〒160 新宿区四ツ谷3-1
TEL 03-3351-1848
FAX 03-3357-8472

三共総合印刷株式会社
代表取締役 藤浪 稔央 (27年卒)
〒102 千代田区飯田橋3-11-22
TEL 03-3230-4555~6
FAX 03-3230-4880

KOKEN
株式会社 **光 建**
代表取締役 知光 敬矩 (28年卒)
〒151 渋谷区西原2-34-2
TEL 03-3468-7700 FAX 03-3467-0202
千代田区三崎町・中野区中央・光建ビル

— 解 体 業 —
株式会社 **ア サ バ**
代表取締役 浅場 啓介 (29年卒)
〒130 墨田区錦糸1-1-5
TEL 03-3625-2671(代)
FAX 03-3625-2673

 **成 川 裕 次**
有限会社 **原田パース事務所**
〒151 渋谷区代々木2-23-1
ニュー・ステート・メナー561
TEL (03) 3370-7727
FAX (03) 3370-7732

— 土地建物の売買仲介 —
有限会社 **大旺産業**
代表取締役 成川 一郎 (25年卒)
〒422 静岡市大和2丁目1-15
TEL 054-283-2384
FAX 054-286-6481

婦人服 株式会社 **オーセンティック**
製造販売 〒150 渋谷区神宮前3丁目31番5号
TEL 03-3408-1269 FAX 03-3408-1270


不動産 株式会社 **青風会商事**
管 理 〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町9-13
智光ビル4B
TEL 03-3249-6634 FAX 03-3661-8085
代 表 内 藤 義 人 (24年卒)

酒の現金問屋
株式会社 **玉 壺**
代表取締役 小林 貞夫 (29年卒)
〒336 埼玉県浦和市南浦和3-43-15
TEL 048-881-0628 885-6494 FAX 048-882-0055

秋葉原 **PCworkshop**
パソコンショップ
毎日が 超特価
ショッピングガイド無料送付
お申込み: 0120-81-8128
10:00~17:00 (日曜・祝日は除く)
(株)ピーシーワークショップ秋葉原店・通販センター
東京都千代田区外神田1-15-16ラジオ会馆6F(JR秋葉原駅すぐ前)

○ トイレットペーパー・タオルペーパー・モップ・ウエス及清掃用品
各種マット及敷物・スチール製品及家具
オフィス文具・事務用品・ビル管理用品・ビル清掃用具
東京都紙商組合員
マルミ屋株式会社
代表取締役 湯本 克巳 (25年卒)
本 社 〒104 中央区佃1-9-11 TEL 03-(3531)-6878・5778
FAX 03-(3531)-5771
営業所 〒174 板橋区舟渡4-3-1 新日本製鉄株式会社 東京製造所内
TEL 03-(3968)-6841

常務 入野克彦 (33卒)



☑ 遊休地の活用を考えたい、
☑ 施設の経営を委託したい、
☑ 催事、式典を企画したい、
⋮
そんなときはぜひご相談ください
03-5632-9388
Creative Life Corporation
A member of the KAJIMA Group
私たちはスポーツ・エンターテインメントの市場に専門サービスを提供いたします。

サラダ収穫祭
シャキッと・サラスパ・シーチキン
Hagoromo ほごろもフーズ